

発行：横浜市教育委員会事務局

栄区本郷中央・上郷西・上郷東連合地区にある6つの小学校及び3つの中学校の小規模化という現状を踏まえ地域の代表等の方々から構成される栄区小規模校再編検討委員会を立ち上げ、話し合いを始めました。

対象校（小学校）犬山小・桂台小・上郷南小・公田小・野七里小・矢沢小（中学校）桂台中・上郷中・庄戸中

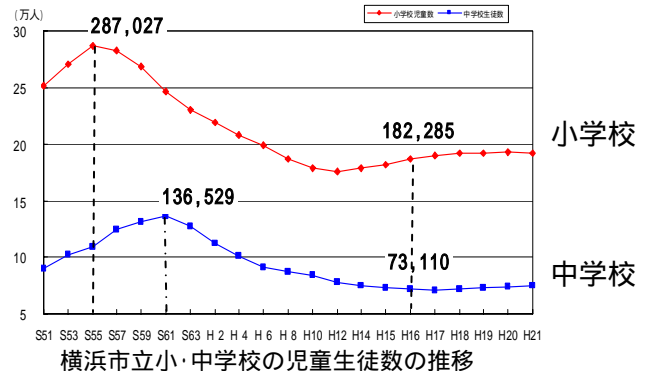
第一回栄区小規模校再編検討委員会
平成16年7月6日(火)開催
栄区役所新館4階8号会議室にて



再編検討の経緯～ 横浜市全体の現状とそれに対する方針

全国的に少子化が進んでいますが、横浜市立小・中学校の児童生徒数も年々減少してきています。児童数はピーク時（昭和55年）の64%、生徒数は同じく54%に減少しており、今後も大幅な増加傾向は見られません。

それに伴い、小規模校（小学校11学級以下、中学校8学級以下）の数も年々増え（小学校55校・中学校19校（10年前の3倍））、様々な問題点が指摘されるようになりました。



そこで、横浜市では、平成15年12月に「横浜市立小・中学校の規模及び配置の適正化並びに通学区域の見直しに関する基本方針」を策定し、小・中学校の小規模化問題に取り組むこととしました。

基本方針の概要

* 通学区域に関して *

地域社会の中核としての役割を果たすことから、「『まち』とともに歩む学校づくり」を進め、現行の通学区域制度を基本とします。

* 学校規模に関して *

教育効果との相関、教員配置など教育指導面における充実や管理運営面、学校施設・設備の効率的な使用などから総合的に判断し、適正規模の範囲を決めました。

適正規模のメリット 小・中学校：12～24学級

- ・小学校では、各学年2学級以上あることにより、どの学年でもクラス替えができる。
- ・小学校では各学年2学級以上、中学校では各学年4学級以上あることにより、総合的な学習や特別活動（クラブ活動や児童・生徒会活動等）、部活動の充実を図りやすい。
- ・小学校では各学年4学級以下、中学校では各学年8学級以下であることにより、児童一人ひとりの個性の伸長、個に応じた適切な教育を行いやすい。

小規模校の問題点 小学校：11学級以下 中学校：8学級以下

- ・小学校ではクラス替えができず、人間関係に問題が生じた場合に解決が困難になる場合がある。
- ・中学校では効果的なクラス替えができる各学年3学級以上を確保できない。

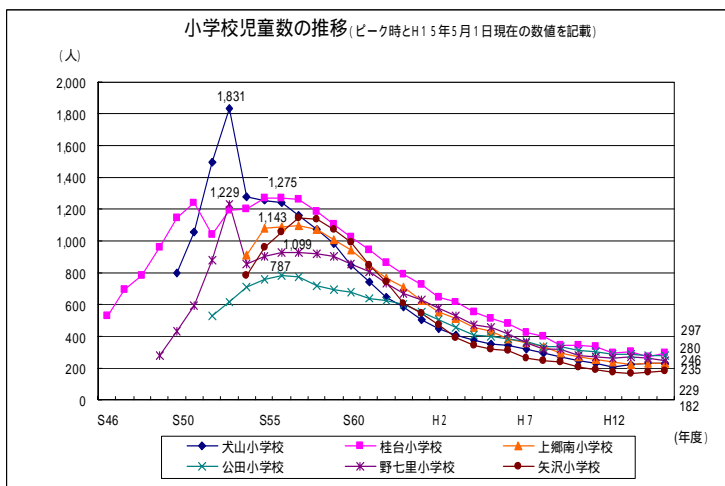
* 小規模校対策 *

地域の皆様の理解と協力を得ながら、学校統合や通学区域の変更等を行い、教育環境の向上を目指します。学校統合については、小規模校再編検討委員会を設置し、十分調整します。

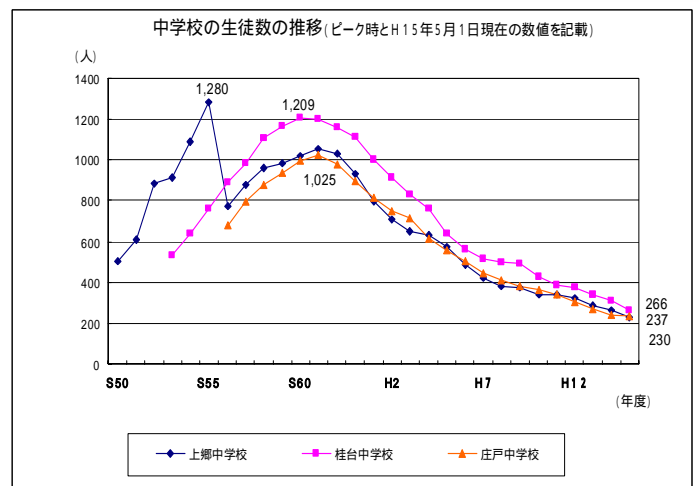
- ・検討対象地域：（小学校：11学級以下、中学校：8学級以下の学校が複数近接する地域）

再編検討の経緯～ 栄区の現状

この地域では、昭和50年代に、次々と住宅地が開発されました。ピーク時（昭和55年）には、小学生が約6,300人、中学生が約3,300人いました。しかし現在、小学生は6校合わせて約1,500人、中学生は3校で約700人になっています。今後も減少傾向が続くことが予測され、クラス替えのできない単学級の学校が増えていきます。



児童数の推移

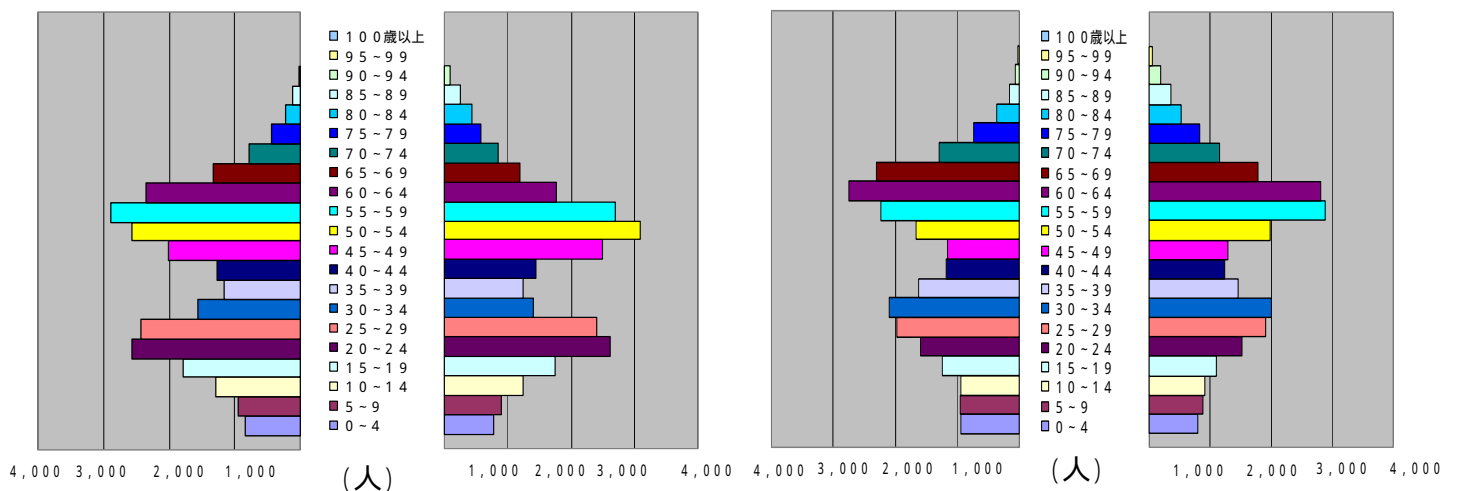


生徒数の推移

栄区「犬山小・桂台小・上郷南小・公田小・野七里小・矢沢小」エリアの人口構成 (3月31日現在)

(男) 平成10年 (女)

(男) 平成16年 (女)





【ご質問】

- * 委員の任期は2年ですが、小規模校再編時期をいつ頃にするという目標はあるのですか。
設置要綱で、委員の任期は2年にさせていただきましたが、これは、一つの目安とお考えください。教育委員会としては、出来るだけ早い時期に適正な学校規模にし、教育環境を向上させたいと考えています。この地域は、同じように検討委員会を立ち上げた金沢区並木地区や緑区霧が丘地区に比べると、検討対象校が多いので、短期間で全体の方向性を出すのは大変なことだと思いますが5年6年とかかかっては現状のまま子どもたちが卒業してしまいますので、検討は慎重に、実施は速やかに、と考えています。
- * 桜井小、本郷小もこの地域の近隣にありますが、この2校は別の機会に検討するのですか。
桜井小は推計上減少傾向にありますが、今後とも適正規模の範囲で推移していく見込みです。本郷小はこれからも増えていく学校です。2つ以上の小規模校が近接している場合に再編して 適正規模校にしていこうというのが、基本方針の考え方です。
- * 上郷ネオポリスは野七里小の区域なのに一部が矢沢小になっています。同じ町内の子どもが別々の学校に通っていますが、どういう学区の分け方をしたのですか。
開発等によって、学校の受入能力を超えると見込まれる場合、地域に「新設校開校準備委員会」を設置し、そこで提案された「学校名」を市議会に、「通学区域」を教育委員会に諮り定めています。このように、それぞれの地域の事情を踏まえて通学区域を決めてきましたので、結果として町内会と通学区域とが一致していない地域があります。地域のまとまりも大切な要素ですが、学校規模や子どもたちの通学時間、安全も大切なことと考えています。

～【ご意見】～



* 開発によって学校を増やしてきた経過があり、今度は小規模化してきたから減らすといいますが、教育委員会は、地域の状況をよく見て計画をしていただきたいと思います。
* 大人数のなかで競い合ったり、今までできなかった種目をやりたいという声が出て、3年前から矢沢小と合同運動会を行っています。保護者からは、やっと活力のある運動会になったという声も聞かれ、また、多くの子どもたちは、違う友達と知り合いになれたことに喜びを感じています。ただし、統合すれば、全てうまくいくというものではありません。教育目標とかカリキュラムの再編成とかの問題も大変なことですが、この検討委員会では大きな視点で通学距離や通学安全の問題も含め、検討を進めていただきたいと思っています。(犬山小)
* 本校は現在のところ、一応適正規模の範囲にあり、安定した学校経営ができていると考えています。子どもたちの立場からみると、少人数なので選ばれるチャンスが多く、緊張場面を多く体験できます。しかし3年前、1クラスになった学年があり運営に非常に苦労したと聞いています。これから減っていくというデ-タが出ているので不安です。(公田小)
* 現状と課題についての説明を受け、学校統合は避けられない問題だということはわかりました。地域とか学区とかあると思いますが、主役は子どもです。子どもは今、通っている学校を大事と思っています。そういう気持ちを大切にして再編問題を検討してください。
* 単学級だから、問題が起きたときの修復が難しいということは私も常々思っていたので、クラス替えのできる学校経営が望ましいと考えます。1学級の児童生徒数を 人以下と定めていることが、その壁になっていると思うのですが。また、周辺に大規模校があっても、その地域全体の問題としてとらえ直しをする。それが、適正規模を考えるポイントになるのではないかと考えています。行政にはこの地域の人口がどうして減ってしまったのか、若い夫婦が戻ってきて、その子どもたちが学校に通えるような環境にならないのか、考えていただきたいと思っています。
* 本当にバランスのとれた教育態勢を考えるなら、その地域全体を見直していくべきでしょう。しかし、現実問題そこまでやるのは難しい。そこで、教育委員会素案の小規模校同士を合わせて適正規模校にしていく考え方は基本にして良いと思います。また、今は適正規模校であるけれど、将来、小規模校になると予測される学校も検討対象にするという考え方も良いと思います。学校経営には、お金がかかります。その問題が常に底流にあるということを入りながら、英知を出し合って、最後まできちんと意見を出していきましょう。

以下の方々に委員をお願いしました。



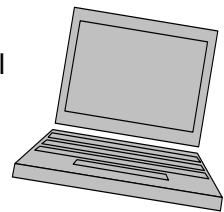
栄区小規模校再編検討委員会委員（敬称略）

委員長	野村 政晴	本郷中央連合町内会自治会会長	広澤 裕子	公田小学校PTA会長
副委員長	本多 淳一	上郷西連合町会会長	山本 克子	桂台小学校PTA副会長
副委員長	角田 和宏	上郷東連合町会会長	石川 弥生	犬山小学校PTA会長
委員	鈴木 勇	桂台団地自治会会長	益田 京子	矢沢小学校PTA会長
	梅津 三彌	湘南桂台自治会会長	角田 厚子	上郷南小学校PTA会長
	細田 利明	フロ・ラ桂台自治会副会長	山本 真由美	野七里小学校PTA会長
	白石 京子	民生委員・主任児童委員	臼井 利夫	栄区副区長
	黒木 さち子	犬山町会副会長・主任児童委員	若林 健一	公田小学校長
	阿部 よし系	上郷西ヶ谷ハイツ自治会会長	中礼 数則	桂台小学校長
	武田 輝明	青少年指導員協議会会長	酒井 勲	犬山小学校長
	宗高 久友	上之町内会会長	上原 優子	矢沢小学校長
	三浦 祐俊	上郷東シニアクラブ連合会会長	小島 光子	上郷南小学校長
	角田 正一	上郷町内会副会長	阿部 述夫	野七里小学校長
	坂本 アヤ子	上郷東民生・児童委員協議会会長	甲斐 孝昭	桂台中学校長
	北條 祐勝	保護司・学識経験者	相澤 陽子	上郷中学校長
			渡辺 光	庄戸中学校長

栄区小規模校再編検討委員会の経過・横浜市の基本方針等は

ホームページでもご覧いただけます。

- * 横浜市教育委員会HP
- ・ 基本方針等：<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakku.html>
- ・ 栄区小規模校再編検討委員会：
<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/shoukibo/index.html>



次回検討委員会の日程

平成16年8月27日（金） 18時～

栄区役所会議室



栄区小規模校再編検討委員会では、常に皆様からのご意見をいただいております。

FAXかEメールにて事務局までご連絡ください。



- ・ 栄区小規模校再編検討委員会事務局
横浜市教育委員会事務局学校計画課

TEL : 671-3253
FAX : 651-1417
Eメール : ky-sakae@city.yokohama.jp